

市立幼稚園バス有料化

「99万8千円増収」と、市はいうけれど



「市立幼稚園バスの有料化の見送りを求める請願」が、9月議会で不採択になりました。日本共産党は採択を求めてがんばりましたが、旧庄内や旧鰐田の議員を含め、多くの議員が不採択の態度を取りました。

斉藤市長には、無料継続を求める要望書が1000人もの署名と合わせ

て提出され、市長は保護者たちに「頭を冷やして考える」と約束していました。ところが、教育委員会は10月から予定通り有料化を実施の態度を変えませんでした。(写真は、かいた幼稚園バス)

ゆいかんじ議員は、厚生文教委員会や本会議での質問と討論で、「今

年度わずか99万8千円の財政効果のために、安全な通園に必要な幼稚園バスを有料にするのはおかしい」と批判しました。

市長の行財政改革に賛成する議員からも、「やりすぎ」と声がありましたが、最終的には有料化を容認する態度をとりました。

斉藤市長の行財政改革で広がる

「お金が足りない」といって、高齢者や子どもにも犠牲を押しつける行財政改革。住民犠牲の向こうに、納得できない不透明なできごとがおきています。

住民犠牲 不透明性

有罪の幹部が「談合した」

談合疑惑のある企業に、市上下水道局が浄水施設管理などを75か所一括委託(3年間・5億8500万円)していました。川上直喜議員が、水道事業決算議案の質疑で明らかにしました。

発注した相手は、水道機工(本社・東京)。岩崎浄水場施設建設(庄内)をめぐる贈収賄事件で、すでに有罪が確定した前澤工業幹部が、「談合した」と裁判で認めた5つの企業のひとつです。

上下水道局は昨年12月、この幹

市水道局
浄水場

水道機工に
5億8500万円
3年間



明星寺浄水場



鰐田浄水場



岩崎浄水場

岩崎浄水場
浄水施設建設

談合疑惑の企業 75施設一括委託



太郎丸浄水場



鰐田浄水場



鰐田共同浄水場

(2005) 4月 水道機工に明星寺と鰐田の2つの浄水場の管理委託

(2006) 2月 汚職事件で旧庄内町現職議員、前澤工業幹部が逮捕

6月 住民監査請求。「調査結果によって損害賠償、刑事告発」と事業管理者が答弁

9月 あっせん利得処罰法違反事件など有罪確定

11月 損害賠償請求住民訴訟

12月 調査報告書まとめ

(2007) 3月 情報公開拒否、水道機工に一括発注、元水道課長懲戒停職処分

4月 市が旧庄内町長の関与認める

7月と8月 情報公開拒否

部の供述が入った調査報告書をまとめており、談合の告白を承知の上で委託したことになります。担当部長は、「談合告白」の部分を読んでいたことを認めました。

水の安全より企業の利益

談合は、公共の利益より企業利益を優先し、税金を食物にするものです。いちばん安全性が求められる浄水施設です。チェック機能は働いたといえるのでしょうか。「2000万円節減。行財政改革」といいますが、こんなやり方はありません。

「情報公開は拒否」の背景に

上下水道局は指摘を受けて、「旧庄内町長に会う」と答弁しましたが、調査報告書の情報公開は拒否したまま。「検察庁文書や市職員処分記録が含まれている」「住民訴訟裁判に影響がある」——これが理由です。市民感覚から離れた言い分のもとに、何があるのでしょうか。

岩崎浄水場事件の真相究明は、まさにこれからです。日本共産党市議団は、行政の深い関与、談合問題、水道機工への一括委託問題の究明に力を尽くします。